

# やまがた認知症カフェ通信 2017 9月号

平成29年9月15日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

## さくらんぼカフェで臨床美術体験会を開催しました！

8月29日、さくらんぼカフェにおいて、県民の皆様へ「認知症カフェ」の取り組みを広く知っていただくこと及び認知症カフェにおける活動の一例として「臨床美術」を体験していただき、各認知症カフェの運営に活かしていただくことを目的として、「臨床美術体験会」を開催しました。当日は、認知症の方やそのご家族、県内各地の認知症地域支援推進員、地域包括支援センター等の専門職、認知症カフェ運営者約30名が参加。講師には、米沢市を拠点にボランティア活動をされている臨床美術士の鈴木恵先生をお迎えし、「タマネギ」を作成しました。その工程は、新聞紙を丸め、水のりで色とりどりの和紙を貼っていくというもの。大量に準備された本物の玉ねぎの中から、参加者がお気に入りの玉ねぎ1つを選び、見て、触って、時には断面の匂いを嗅ぎながら、オリジナリティーに溢れた「タマネギ」を作り上げました。

「臨床美術」とは、単にオブジェを「見る」だけでなく、触ったり、匂いを嗅いだり、味わったり、音楽を聴いたりしながら手を動かすなど、全身の感覚を刺激する創作活動を行うことにより、脳を活性化させ、認知症の症状を改善することを目的として開発されたものです。作品づくりに上手い下手は関係なく、臨床美術士とのコミュニケーションの中で、「ほめられる」「共感を得る」ことの喜びを感じることで、意欲の向上にもつながります。

この日、作品が完成したあとは鑑賞会を行ったのですが、皆で同じ「玉ねぎ」という1種の野菜のオブジェを作成したのに、できあがったのは様々な形や色の「タマネギ」で、同じ形や色の「タマネギ」はひとつもありませんでした。参加者の方からは、「そこが面白い！」といった声が聞かれ、認知症の方やご家族、地域の方、専門職の皆が笑顔で和やかな時間を共有しました。

▼鈴木先生が各テーブルを回って作品に一言！



▼参加者全員の「タマネギ」が並ぶと壮観でした♪



さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

### ～ 新たな気持ちで皆さんをお迎えしようと京都で学んできた「電話相談員」～

さくらんぼカフェでは祝日を除いた月曜日から金曜日の12時から16時まで電話相談をお受けしております。



若年性認知症支援コーディネーターと、認知症の人と家族の会山形県支部の世話人が交替で担当しており、相談内容やお電話くださる方の状況などに合わせた対応を心がけ、そのための研鑽に日々努めているところです。

去る8月に、認知症の人と家族の会本部(京都市)が主催した「認知症コールセンター相談員研修会」に、2名の担当者が参加いたしました。参加した担当者は、相談員としての心構えや具体的な対応として、「電話をいただいた方の状況をどのように解釈し、どのように応答していくかは、受け手自身がその〈職務〉をどのように考えているか、どのように家族を理解するかは左右されやすい。」という講師の言葉に改めて相談員としての重責を感じながら暑い熱い京都から帰って来たとのこと。「今、この気持ちをとにかく聴いてほしい!」、「こんな時はどうすればいいの?」というときは、

⇒ 電話番号 023-687-0387 まで。相談員がお待ちしております。

# 誰もが気軽に集える場所を目指して

## ～白鷹町「のどかカフェ」～

白鷹町認知症地域支援推進員 (主任保健師)  
白鷹町健康福祉課 地域包括支援センター係

### 村上るみ子(むらかみ るみこ)さん ー白鷹町ー

白鷹町では、平成28年4月から、ボランティア任意団体 ちよぼらの会に、認知症カフェの実施を委託しています。

会場はちよぼらの家で、月1回、第4水曜日の14時から15時30分まで開催しています。毎月、町のホームページと広報しらたかで開催日をお知らせしています。ちよぼらの家は一軒家なので、まるで自宅にいるような気分でくつろいで過ごすことができます。カフェの名前をどうしようか、と第1回の参加者で考え、誰もがのどかに楽しく過ごすことができるカフェがいいね、という意味を込め、「のどかカフェ」と名前をつけました。活動の内容としては、美味しい飲み物とお菓子を楽しみながら、時候の話題や健康づくり、介護予防に関する話をして、その後は、自由に参加者同士やスタッフも交えておしゃべりを楽しんでいます。認知症の話題になったときは、さりげなくアドバイスをを行い、相談したい場合は別のスペースを設けて相談を受けております。

11月11日(土)開催の白鷹町元気にここに健康まつりで、さくらんぼカフェの出張カフェを開催します。多くの町民の方にのどかカフェを知っていただき、認知症を身近なこととして、また自分自身のこととして考えるきっかけになれば、誰もが安心して暮らせるまちづくりの一助になるのではないかと感じています。

これからも、身近な、まちの「のどかカフェ」として、誰もが集えるカフェを、町民のみなさま、ちよぼらの会とともに作っていきたくと思っています。お近くにお越しの際は、のどかカフェにお気軽にお立ち寄りください。



## インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

及川昌秀さんからの呼びかけ～当事者による若年性認知症カフェ～

### 「おれんじドア山形」によろこそ

開催日：毎月第1土曜日午後1時～3時

場所：さくらんぼカフェ(山形市)

連絡：さくらんぼカフェ(今後、変更予定あり)

仕事をしながら休日の1日を同じ若年性認知症の仲間と共にするひとときを作りたいとこの春からオープンしました。仙台で丹野智文さん達が催している「おれんじドア」を模して、山形で開催しています。当事者とご家族の方、ぜひおいでください。お待ちしております。

#### ★8月の「おれんじドア」参加者のメッセージご紹介★

「認知症カフェがあって本当に良かったです。カフェのおかげで父も色々な人と会話することや手助けを受けることに慣れてくれ、今ではデイサービスにもスムーズに通うことができています。父の今まで知らなかった一面もたくさん見られ、介護している私の良いリフレッシュになっています。」  
(お父様と参加の娘さんから)



9月は世界アルツハイマー月間 世界中で【認知症の理解】啓発活動中！

## 新規オープンカフェ

### 認知症カフェ

#### 「オレンジカフェよつば」(山形市)

- 日時：月・水・土曜日  
午前9:30～11:30  
午後4:00～6:00
- 場所：山形市長町4丁目1番21号
- 参加費：認知症の人と家族は無料。そのほかの方には運営協力金(飲み物・菓子代含む)として1人200円
- 対象者：どなたでも
- ※「誰でも気軽に立ち寄れて、来た人に幸運が訪れてほしい」との思いで名付けたカフェだそうです。「高齢化が進み認知症の問題が深刻化している中、困ったときの相談拠点にしていきたい」と語られる片山さん。8月15日に地域の方々を招いて開所式でした。
- 問合せ：片山款郎さん ☎090-7334-2443

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)

電話・来所相談・カフェオープン月曜～金曜日 昼12時～午後4時

TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。